

「犯罪の起きにくいまちづくり基金」について

～防犯カメラの設置を契機とした犯罪の起きにくいまちづくり～

各地区防犯協会

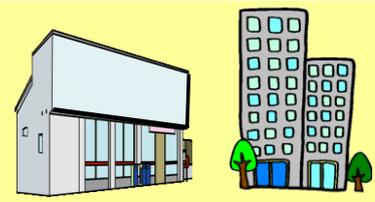
○県内16警察署単位に設置されています。
○会長は、市長又は町長です。

基金の銀行口座を開設

口座番号等は、各署生活安全課又は各地区防犯協会にお問い合わせください。

団体・事業者等

防犯CSR活動として、各地区防犯協会が設置した「犯罪の起きにくいまちづくり基金」への支援を行います。



支援

防犯カメラ等の設置

防犯CSR活動とは…

CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略であり、一般的には「企業の社会的責任」と言われています。

防犯CSR活動は、県民が安全で安心して暮らせるまちづくりのための社会貢献活動です。

防犯CSR活動のメリット

1. 事業者のイメージアップ
2. 信用性の向上
3. 従業員の防犯意識や社会貢献意識の向上
4. 官公庁と連携した活動をしていることによるステータスの向上

防犯カメラ

防犯カメラ設置により、自転車盗発生が0件になったケースもあります!!

- JR西条駅
平成25年4月1日、防犯カメラを設置
→本年4～5月、自転車盗発生は0件。
- 四国中央署管内のJR3駅
平成24年中、防犯カメラを設置
- JR宇和島駅
平成24年8月、防犯カメラを設置

防犯カメラ=効果抜群!!!

県民



- 地域社会で守られている実感がUP
- 子ども・女性、高齢者の安心感がUP

犯罪減少

事業者等のイメージアップ

近江商人の三方よし

～CSR活動の原点～

売り手よし
買い手よし
世間よし

近江商人は、売り手の都合だけで、商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献しなければならないと考え、商業理念として、「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」を掲げました。
現在でもこれを社是とする事業者は多く、企業の社会的責任(CSR)は、近江商人の「三方よし」そのものです。

